

建設技術力養成セミナーin敦賀を開催

若手技術職員のスキルアップを目的として、10月30日に敦賀市南公民館を会場として「建設技術力養成セミナーin敦賀」を開催しました。

当セミナーは毎年1回開催しており、3回目の今回は伏木富山港湾事務所、金沢港湾・空港整備事務所、敦賀港湾事務所より25名の職員が参加しました。また、講師には長年港湾整備に携わってこられた方々を招き、次の4つの講義が行われました。

1. 潜水士（もぐり）の体験（講師：金沢利一氏）
2. 福井港ケーソン製作等について（講師：前健治氏）
3. 敦賀港の沿革及び鞠山新港の整備について（講師：北野雅三氏）
4. ナホトカ号重油流出事故について（講師：土市進氏）

講義では、港湾工事等における潜水作業の長年に亘る経験談や、福井港で実際に行われた珍しいケーソンの進水工法、敦賀港整備の変遷と漁業補償や今後の展望、及びナホトカ号重油流出事故の状況と対応等、興味深い話を聞くことができました。

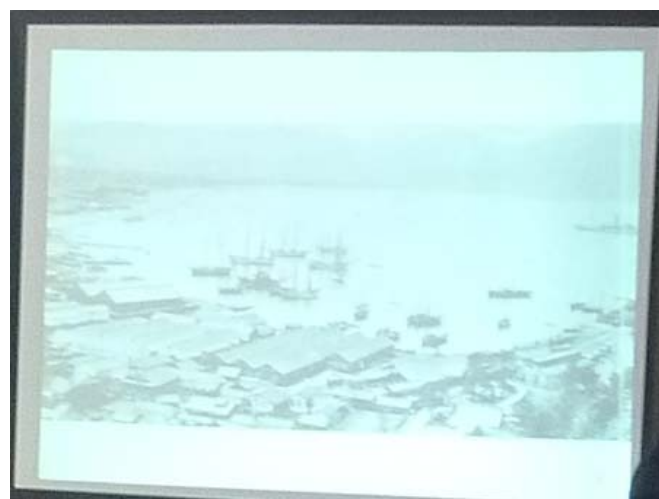
港湾工事全盛期に実際に工事に携わって来られた方々の講義は、若手職員にとって印象に残るものとなったことと思います。



北陸みなと会長（高橋政秋氏）による開会挨拶



講義の様子



昔の敦賀港（講義スライドより）